

1. 沿革

- 平成 23 年 6 月 1 日 磯部小学校、磯部中学校、中村第二小学校、中村第二中学校へ定期的なスクールカウンセラー派遣を開始。
- 平成 23 年 6 月 2 日 特定非営利活動法人相馬フォロアーチーム設立総会開催。満場一致で設立が承認される。理事 7 名、監事 1 名、事務局長 1 名、スタッフ 6 名。理事長に山田耕一郎、副理事長に長有紀枝が就任。
- 平成 23 年 9 月 1 日 日立木小学校へのスクールカウンセラー派遣。
- 平成 23 年 11 月 1 日 玉野小学校へのスクールカウンセラー派遣。
- 平成 24 年 4 月 1 日 理事長に羽根田万通、事務局長に渋谷常範が就任。
- 平成 24 年 4 月 1 日 アート・メゾン予定地に仮設事務所を設置し、生涯学習会館より移転。
- 平成 24 年 4 月 1 日 山上小学校へスクールカウンセラー派遣。
- 平成 25 年 4 月 1 日 事務局長に齋藤順至が就任。
- 平成 25 年 12 月 2 日 事務所を LVMH 子どもアート・メゾンに移転。
- 平成 26 年 4 月 1 日 カウンセラー 3 名・保健師 1 名から、カウンセラー 4 名の体制に。世界の医療団からカウンセラー派遣の支援を受ける。
- 平成 26 年 7 月 2 日 LVMH 子どもアート・メゾンが正式にオープン。相談室でのカウンセリング、研修室での教員研修や関係機関との会議等で活用する。
- 平成 27 年 4 月 1 日 カウンセラー 3 名の体制に。引き続き世界の医療団から支援を受ける。

2. 設置の趣旨

相馬市内の子ども、保護者、教員に対して、震災により生じた心理的ショックを緩和するための心理的なケアを行い、市民の心の健康の維持に寄与することを目的とする。

3. 活動方針

【初期の目標】子どもの生活を充実させる

- ① 心理支援を行うことにより、子どもの不安や悩み、PTSD 様反応などの解消を目指す。
- ② 学校・家庭・地域への支援を行うことで、子どもの生活の質を向上させる。

【中期の目標】子どもの可能性を広げる

- ① 心理支援を行うことにより、自尊感情や自己肯定感を高めるような働きかけを行う。
- ② 学習支援や交流行事により、学び、ふれあう場を提供し、子どもの可能性を広げる。

【長期の目標】人生に花マルを！

子どもが将来「震災で人生が台無しになった」ではなく、「いろいろなことがあったけれど自分なりに精一杯生きてきた」と振り返ることができるようなストーリー作り。

4. 組織

(1) 理事会

理事長	羽根田万通（会社役員）	副理事長	長有紀枝（難民を助ける会理事長）
理事	上昌広（東京大学特任教授 医師）、宮澤保夫（星槎グループ会長）、近藤菜々子（弁護士）、佐藤達雄（税理士）、片寄雅彦（医師）		
監事	反畑正博	事務局長	齋藤順至

(2) スタッフ

担当	職名	氏名
事務局	事務局長	齋藤順至
心理支援	カウンセラー	島村正和（臨床心理士） 今井香織（臨床心理士） 城戸有未（心理士）

5. 事業の概要

(1) 学校巡回型心理支援

① スクールカウンセリング

- ・児童生徒のカウンセリングや学習支援、心理的外傷への対応及び予防啓発活動
- ・震災遺児への継続的多面的な見守り活動
- ・教員とのコンサルテーションや保護者へのカウンセリング活動

学校	担当	曜日
磯部小学校	今井香織	木
磯部中学校	城戸有未	月
中村第二小学校	城戸有未・島村正和	火・水
中村第二中学校	今井香織・城戸有未	火・木
山上小学校	竹川佳津子(世界の医療団、臨床心理士)	月(隔週)
日立木小学校	浅井このみ(世界の医療団、臨床心理士)	月(隔週)

② 教職員への支援

- ・教職員のメンタルヘルス向上を目指したカウンセリング活動
- ・教員研修の実施と講師派遣

③ 緊急支援

- ・事故等の緊急事態に上記以外の学校にも短期、集中的にカウンセラーを派遣し問題に対応

(2) 拠点型心理支援

① LVMH 子どもアート・メゾン相談室での活動

- ・子ども、保護者、学校、関係機関の依頼による心理相談、発達相談と心理検査

場所	担当	曜日
アート・メゾン相談室	島村正和、今井香織	火・水・木・金

(3) 他機関と連携した心理支援

① 関係機関と連携したコンサルテーション

- ② 医療機関や公共の相談機関、教育機関との情報交換やコンサルテーション

- ③ 関係機関との協働 保健センターとの発達支援・子育て支援

理事長ご挨拶「子どもたちの孤立と内向」

平成23年6月から始まった相馬フォロアーチームの活動も5年目に入ります。子ども達の抱える様々な問題や、周辺の関係者の直面する問題に取り組んでまいりました。

最近感じるのですが、震災や原発の度重なる放射能もれ事故の報道などで、相双地方に重苦しい雰囲気が常に立ちこめるようになり、その影響もあるのか、子ども達の中に孤立や内向、不登校などが増えて来ているように思われます。親だけでなくその子を取りまく人や環境全体が優しい思いで満たされなければ状態の改善はないと思われます。

息の長い取り組みになると思われませんが、どうかこれらの問題に苦しんでいる子ども達や関係者に、より一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

平成27年5月

NPO 法人相馬フォロアーチーム 理事長 羽根田万通



要 覧

平成27(2015)年度



特定非営利活動法人 相馬フォロアーチーム

〒976-0042 福島県相馬市中村2-2-15 LVMH子どもアート・メゾン

電話 0244-35-6200 FAX 0244-35-6215

URL <http://www.soma-ft.org/> E-mail sft@soma-ft.org